



わかもの
こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

ねが しゃかい
みなさんが願う人生や社会にするために、
たいせつ
学校でどんな学びが大切ですか？

ほうこく しりょう
報告資料

2025年1月14日～2月2日 アンケート開催 かいさい

2025年1月27日～31日 オンライン開催 かいさい

2025年1月29日～30日・2月3～5日・10日・12日 出向く型 む がた

ど わかもの じぎょう
2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

開催概要（1/2）

テーマ	みなさんが願う人生や社会にするために、学校でどんな学びが大切ですか？
担当省庁	文部科学省
テーマ説明	学校での学習の目標や内容は、「学習指導要領」で定められています。学習指導要領はおよそ10年に一度のペースで作り変えます。今、新しい学習指導要領に作り変える取組が始まっています。学校での学びを通じて、みなさんにはこれからの人生・社会をつくるための大切な力を身に付けていってほしいと思っています。 新しい学習指導要領を作るにあたり、「将来の希望」や「学校での学び」について、みなさんの意見を「こども若者★いけんぷらす」の「いけんひろば」できかせてください。
参加対象者	【アンケート・オンライン】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学生～高校生年代の方 【出向く型】特別支援学校・学びの多様化学校等（計7校）に通う小学生～高校生年代の方

開催概要 (2/2)

アンケート

かいさいにちじ 開催日時	れいわ 令和7年1月14日（火）～2月2日（日）
かいとうけんすう 回答件数	けん 187件

オンライン

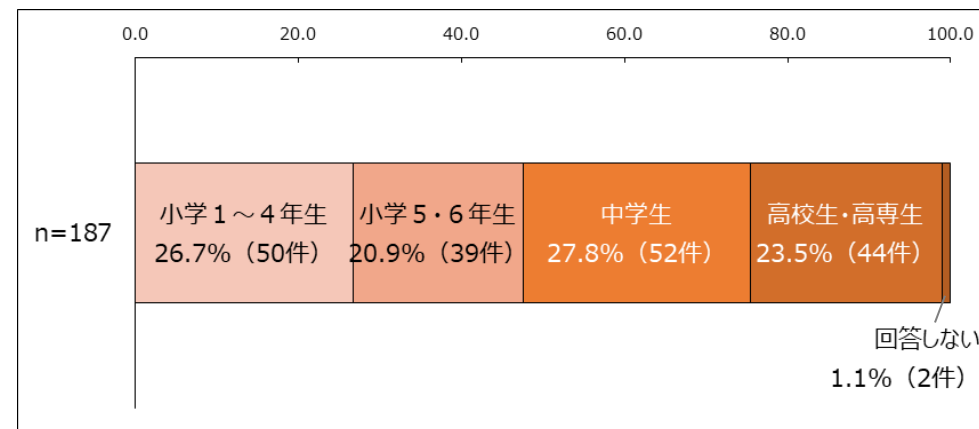
かいさいにちじ 開催日時	れいわ 令和7年1月27日（月）～1月31日（金） かくかい 各回19:00～21:00
さんかしゃすう 参加者数	132人 うちわけ 内訳： 小学1～4年生…31人 小学5・6年生…26人 中学生…33人 高校生・高専生年代…42人

でむがた 出向く型

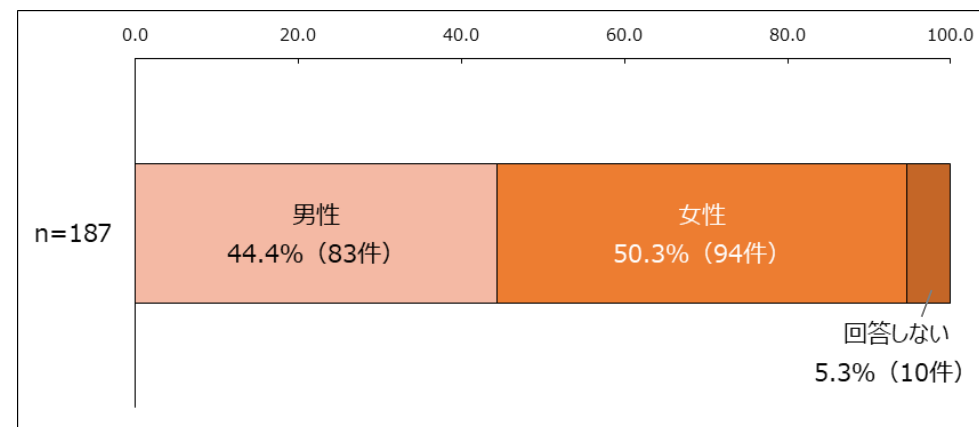
かいさいにちじ 開催日時	れいわ 令和7年1月29日（水）・30日（木）、 2月3日（月）～5日（水）・10日（月）・ 12日（水）
さんかしゃすう 参加者数	47人

アンケート回答者の属性

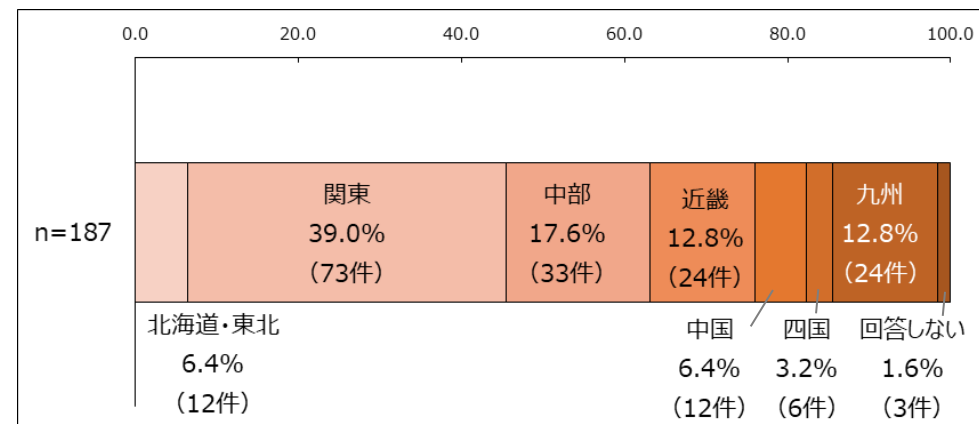
ねんだい 年代



せいべつ 性別



きょじゅうち 居住地



参加者の意見

2. 学校の授業や教科書について

質問

- 2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。
- 2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。
- 2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（小学5年生以上）
- 2-4. 教科書の中で、どんなページが好きですか。（小学1～4年生）
- 2-5. 教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（小学5年生以上）
- 2-6. どんな教科書になるといいと思いますか。（小学5年生以上）

2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。 (1/2)

せんねんたいきょうつう
全年代共通

学んだことと生活や社会とのつながりを感じる授業

- 小学4年生の総合の授業で、車いすの使い方を勉強した。将来、親が車いすを使う生活になったときに役に立つと思う。おもしろくて、ためになると思った。(小学5・6年生)
- 理科の天気単元で、春の雲の動き方を勉強した。雲の動きについて学んでから、衛星の雲画像を見て、次の日の天気を予測するのがおもしろかった。勉強したことを活かして問題を解くことがおもしろかった。(小学5・6年生)
- 社会の授業。世界史を扱ったときに、最初はなぜ法律ができたのかを知らなかったが、法律の考え方がイギリスから始まったことや、それがあって今の政治という仕組みがあるのだと学んで面白かった。(中学生)
- 小学校の時に理科の実験室で4人班になって魚の解剖をした授業が楽しかった。普段は見えない体の中の臓器の数々を見て自分たちも持っているのだと自覚した。(高校生・高専生年代)

興味のある内容の授業

- 私は歴史が好きなので、社会の授業にワクワクした。先生が雑学と一緒に教えてくれて、楽しかった。(小学5・6年生)
- 音楽の授業が好きで、なかでもオペラ鑑賞がよかった。海外に興味があるので、授業でオペラが見られて面白かったし、はじめての体験ができた。(中学生)

実際に体験する授業

- 理科の実験がとてもワクワクした。どのような実験結果になるか、その実験結果からどのような事を思ったかを考えることがとてもワクワクした。(小学1～4年生)
- 1～2週間に一回くらい、地域の方のメロン畑に訪問して、お世話や観察、人工授粉や摘果、収穫などをさせてもらった。実際に体験したり、地域の人たちと交流できたのがとても嬉しかった。(小学1～4年生)
- 情報の授業でパソコンを使ってプログラミングをしたり、体育で体を動かしたりするのが楽しい。頭を使うだけではなくて、実際に手を動かすのが楽しい。(高校生・高専生年代)

発表する・自分の考えを伝える授業

- 作文は自分の思ったことが十分に相手に伝わるように書くのが楽しい。(小学1～4年生)
- 自分で資料を見て、スライドをつくったり、発表したりする授業。(小学5・6年生)
- 公民の授業は好き。授業中に他の人の意見に対しても意見を言いやすく、明るい雰囲気で行っている。発言をするから学んだことが身につく感じがする。(中学生)

2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。 (2/2)

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

自分で学びを進める授業

- 総合の授業が好き。みんなで行く移動教室の計画を立てて役割分担をした。みんなで何かをしたり、**自分でがんばって資料を集めて作ったりするのが好き**だから。(小学5・6年生)
- 総合の調べ学習や美術の何かを作る授業、行事の班決めや調べ学習などは、**自分で決めて、調べて、まとめる作業が好き**なのでワクワクする。(中学生)
- 総合的な学習の中の探究学習の時間。**自分の調べたいものを内発的動機に基づいて調べる**ことができる。大人とも力を合わせて自分が作りたいものを作り上げられる。完成したときはすっきり気持ちがいい。(高校生・高専生年代)

遊びやゲームを取り入れた授業

- 理科の授業で、電磁石を勉強したとき、**カップに入っているクリップを1回でどれくらい持ち上げられるかというクレーンゲーム**をしたのが楽しかった。(小学5・6年生)
- チーム対抗・ポイント制のゲーム形式で、勝てたら景品がもらえる英語の授業。**スピード感があって、ぼーっとする時間がないので集中できて、たくさん**のことを学んでいる感じがするから。(中学生)
- クイズやゲームの要素がある授業**が好き。例えば、体育の授業での試合や、国語の授業での漢字クイズなど。(高校生年代)

友達と一緒に活動する授業

- 体育のポートボール。**みんなで、作戦を考えたり、試合で勝てるように、練習をしたりした事**。(小学1～4年生)
- 理科、流れる水の働きで、校庭で、みんなで校庭の山に協力して川を作ったとき。いつもは喧嘩ばかりしているみんなと協力できて、**その実験のおかげで団結力が深まった**から。(小学5・6年生)
- 数学ですごく難しく発想力が必要となる問題を解くとき。**友達と一緒に解きあったり教えあったりすると面白い**。一緒に何かを達成することで、協働・協力の力がおのずと育成されていくとよい。(中学生)
- 友達との話し合い**がメインの授業。(高校生年代)
- 中学校では班活動をして班ごとに発表する授業が多かった。班活動をする**自分とは違う意見を持っている人と話すことができる**ので楽しかった。(高校生・高専生年代)

2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。 (1/2)

せんねんだいきょうつう
全年代共通

一方的な授業

- 理科の授業は、**黒板に書くばかり**のことが多く、あまりおもしろくない。
(小学1～4年生)
- 楽しいと思えない授業は、**ノートにただ単に写して、聞きたくもない話を聞かされた授業。話を何回も繰り返されてつまらない**なと思った。
(小学5・6年生)
- 社会で教科書を延々と読み聞かされるとがっかりする。**自分たちで考えることもなく、先生に言われていることが聞いても理解しにくい**のでつまらなかった。
(中学生)
- 化学の授業でただ教科書を読み上げただけだったのにがっかりした。**それなら自分でもできるので学校で授業を受けなくても良い**と思った。
(高校生・高専生年代)

学習内容が深まっていない授業

- 政治の授業で、自分の中学校では**政治について深く授業をしない**。各省庁の話、各政党の話など、もっと代表者に触れてほしい。
主権者教育は高校生からが多く、義務教育の過程で浅く終わるのはどうかと思う。
(中学生)
- 道徳の授業。**ありきたりな内容で、授業している側が求めている答えが明らか**なため、どれだけ上手な作文を振り返りシートに書くかに重点があるように感じられた。
(高校生・高専生年代)

自分で考えることがない授業

- 算数の復習。**ずっと練習問題**で、とてもつかれた。
(小学1～4年生)
- 国語の授業で、**何度も同じところを読む**のがムダだと思う。文章を読む力を上げるためにやるのだと思うが、同じことをやっても数回で人間は理解するので、意味がないと思う。
(小学1～4年生)
- 先生がただ単に話しているだけだと頭にも入ってこない**。「考える」行動が入ると、身につくし楽しい。
(高校生年代)
- ただ問題を解き続ける授業。**せっかく学校で他の生徒と一緒に勉強している意味がない**と感じた。
(高校生・高専生年代)
- 先生の板書をただただ写す授業**にがっかりした。それであればインターネットで調べていくのと何ら変わりなく、教室でやる意味がない。**せっかく人が集まって授業を受けている意味がない**状況。
(高校生・高専生年代)
- 高校の理科の実験を楽しみにしていたのに、ほとんど全部座学になってしまったのががっかりした。**実際に経験しないと自分の頭に入らない**ので、もっと経験したいと思った。中学3年生のときには入試対策のために穴埋め問題を解くことがあったが、「単なる入試対策ではなく、今後の勉強を楽しくするためにやっている」というように**将来とのつながり**が示されているととてもよかった。
(高校生・高専生年代)

2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。
(2/2)せんねんだいきょうつう
全年代共通

レベルが自分に合わなかった授業

【簡単だった】

- 私の知能に合った学習をさせてもらえなかった授業。みんなが今学んでいることはもう知っていて、次のことにどんどん進みたいのに、繰り返し練習をさせられるのがすごく嫌だった。(小学1～4年生)
- 算数の授業全般。算数が得意だから問題演習がすぐに終わってしまい、他の子とペースが合わずに暇になってしまうから。(小学5・6年生)
- 小学校の授業で、簡単な問題に無駄な時間をかけて教えられたこと。(中学生)

【難しかった】

- わり算の筆算の授業で、クラスの半分くらいの生徒がさっぱり分らないのに、練習問題が18題も出てきてすごく大変だった。(小学1～4年生)
- もともと知識を持っている人が有利に進められる応用的な化学の授業にがっかりした。(中学生)

クラスメイトの態度にがっかりした授業

- 社会の授業でクラスメイトと2人ペアになって資料をまとめることになった時に、相手が言うことを聞いてくれなくて悲しかった。(小学5・6年生)
- 英語を話す授業で、帰国子女の生徒が「英語の発音がよい」と周りからばかにされていた。発音が苦手な人は逆に「なんであんなに発音が悪いんだ」みたいな感じの空気になってしまって、上手くても下手でもばかにされる時期があって、それにはとてもがっかりした。(中学生)

先生の教え方にがっかりした授業

- 社会や理科で先生が書くのが早くてみんなが追いつけなかった授業。
(小学1～4年生)
- 教科書には書いてある子供がワクワクしそうな内容ばかり飛ばして、真面目なところばかり飛ばさないところ。(小学5・6年生)
- 図工の時間で、本来なら図工は自由に描いていいはずなのに、「ここは物足りないからもっと描いて」「こう描いて」などと指示をされるとがっかりする。(小学5・6年生)
- 数学。小学生の頃だが、途中式ややり方、ノートの取り方まで制限されていて、とても窮屈だった。(中学生)
- 自分は体育が苦手だが、先生によってはコツをまったく教えてくれないことがある。そうすると、「できなくて当然」と思い、上達することをあきらめてしまうので、最低限のやり方は教えてほしい。(高校生・高専生年代)
- 探究の時間について、探究の準備段階としてロジックなどを学ぶ授業年次にあったが、参考文献の書き方を習ったり、書籍を調べてワークシートを埋めたりするのは、順序に従っているだけで面白くないと感じた。(高校生・高専生年代)

2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。(1/3)

小学5年生以上

対話やコミュニケーション能力の向上につながる授業

- 話し合いの力が付けられるような授業。(小学5・6年生)
- 考えやすい内容でディベートをする授業があると、自分の意見やその意見に対する自分なりの根拠などを持てるようになると思う。
(中学生)
- ALTの先生や、外国人とコミュニケーションする機会を増やしたらいい体験になると思う。(中学生)
- 日本の英語教育は文法中心だが、将来海外に行けば、文法はあまり関係なくて、結局はコミュニケーションが取れるかどうかだ大事だと思う。文法を学ぶよりも、ディスカッションや、リスニング、スピーキングを学べるようにしたほうがよいと思う。(中学生)
- 自分の意見をしっかり伝えられる授業があれば、社会に出てもコミュニケーション能力が高い人として認められると思う。(高校生年代)
- 意見を大切にする社会を作るために、友達と意見を言い合う機会を増やして、相手に意見を伝えることの重要性、楽しさを養っているような授業にしたら良いと思う。(高校生・高専生年代)

自分たちが主体となって考える授業

- 自分が調べようと思ったことを調べる授業。(小学5・6年生)
- 生徒たちが考えることをメインとした、生徒主体の授業、実践的な授業がいいのではないかな。(中学生)
- 授業をするというより生徒が主体となった授業。与えられた課題に対して「やらされる」のではなく、自分で意思を持って必要な分をこなすようにできるとより良い。(高校生・高専生年代)
- 身の回りで課題だと感じることに興味を持って主体的に解決していく力が、今後の社会を生き抜くために必要だと思う。授業においても、単に先生の話聞くだけではなく、自分自身が見つけた課題を周囲の人と協力して解決していけるような環境を整えられると良いと思う。(高校生・高専生年代)

2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（2/3）

小学5年生以上

自分のペースや興味に合った授業

- ペースが早い子には発展した内容のテキストを与えたり、自分の興味のあるその教科にまつわるテキストなどを持ってくるなど、誰もが楽しめる授業。（小学5・6年生）
- ひとりひとりに特技や個性があると思うので、その個性を大事にした授業がいいと思う。例えば、この人はプログラミング、この人は小説を書くなど、一人ひとりが自主的な勉強ができる授業があるといい。（小学5・6年生）
- 少人数の、習熟度別の授業がよいと思う。得意なことを伸ばすことができるようになると思う。（中学生）
- 自由進度学習を導入できると良いと考える。できる人はどんどん力を伸ばせば良い。できない人は他の人に聞くなどして自分のペースで勉強できる。（高校生・高専生年代）

体験型の授業

- 社会科見学などの学校の外での学習を今よりもっと増やしてほしいと思う。（小学5・6年生）
- 総合的学習の時間で、公務員などの仕事を見たり体験したりする授業。今のうちに体験することで、どんな職業になりたいかや将来の選択肢が広がるので、知らない活動も知ることができるような授業を取り入れると面白いと思う。（中学生）
- 理科で面白い実験が増えてほしい。教科書で読むだけよりも、実際に手を動かした方が分かりやすい。（中学生・高校生年代）

2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（3/3）

小学5年生以上

学んだことと社会がつながる授業

- 年金や投資の授業をやったらお金に困る人が減ると思う。（小学5・6年生）
- 法律の授業もやってみたら、違法になってしまうことや「この場合はこうすればいい」ということがわかるようになるので、トラブルが減ると思う。（小学5・6年生）
- 現在の日本の状況（少子高齢化などの課題）を学ぶ授業。（中学生）
- 政治家を学校に呼んで、話を聞いたり、模擬選挙をしたりするなど、選挙の仕組みを実際に体験できるとよい。（中学生）
- 身近な社会と関連付けて学習できるとよい。理科で身近な例を教えてください、社会で身近なことに例えたりしてくれるとさらに分かりやすい。（中学生）
- 中学で必修科目としてメディアリテラシーなどを学べるようになると良い。現代社会は情報が沢山あるため、デマ情報に惑わされないためにもそういう力をつけたほうが良いと思う。（中学生）
- 住民票や家賃など、社会にでたときに使う知識についての授業。（高校生・高専生年代）

デジタル端末を活用した授業

- 自分がやりたいプログラミングに近い授業は全くないので、関係する授業を増やしてほしい。（小学5・6年生）
- 一斉授業ではなく、ICTなどを利用して、自分のペースで、自分のためになる学びをしたい。スタサプとかまじめなものだけでなく、教育系 YouTube などでも利用していいようにしてほしい。宿題も、一律ではなく、自分のためになる宿題を自分で選びたい。そうすると、先生が授業研究とかしなくて良くなり、空いた時間で、先生も主体的に力を入れる部分を選べるようになり、生徒と関わる時間も増え、いいと思います。中学校から、高校のように、必修科目を減らして、選択科目を増やしてほしい。副教科は選択にして、建築とかいま選択肢を増やしてほしい。授業は、ICTで全国で利用できるようにすれば、専門の先生は必要ない。（中学生）
- 将来システムを学ぶために、パソコンや機器と触れ合う体験型の授業が欲しい。説明を受けるだけではわからないので、機器で遊んだり触れ合ったりする時間が欲しい。（中学生）

2-4.教科書の中で、どんなページが好きですか。（1/2）

小学1～4年生

自分の興味に合う・興味を持てる

- 自然で暮らしている動物の生き方を調べるのが好きなので、自然のことを扱った教科書が好き。
- 国語の教科書のお話が好き。お話が好きなので、ふえたらいい。
- さかさまことばや、おもしろいゲームが書いてあるページ。
- 国語で、生きる力が付けられそうな本が紹介されているページがあった。その本は読んでみたくなった。

実践できる（自分でつくる・考える・話す）

- 国語の教科書にある「紙コップ花火の作り方」の授業で、実際につくったことで興味をもった。読んで、実際に作ってみるページがふえてほしい。
- 図工の教科書にある、家にある材料を使って、洋服を作るページ。
- クイズみたいなページ。パズルみたいな、じぶんでやってみるページ。
- みんなで発表しあえて、先生が言うことがないくらい、ひとりひとりが意見を言えるようなお題が書いてある教科書のページが好き。

新しいことを知ることができる

- 新しいこと（知らなかったこと）が書いてあるページ
- 国語の教科書の、ロボットについて書かれているページ。色々なロボットのことを知れて発見があり、すごいな～と思いました。
- 社会の教科書で色々な職種の人の気持ちがよく分かったのが良かった。

くわしい説明がある

- 分かりやすい説明が細かく書かれているページ。
- たくさん文字が書いてあるページが好きです。じっくり読める、理解ができるので、好きです。
- 教科書にたくさん文字があった方がじっくり読めるし、理解もできる。
- こどもは色々な情報がつまっていると教科書のページを何回も振り返るようになると思う。
- 国語は、文章を書くときに、例文があったり、「こう書くと伝わるよ」というポイントを教えてくれたりしているので好き。算数も同じようになってくれたら良いと思う。

2-4. 教科書の中で、どんなページが好きですか。(2/2)

小学1～4年生

絵や写真が多い

- 写真が載っていて、実物のイメージがわかりやすいページが好き。
- カラフルで、様子がわかりやすいとよい。たとえば、絵があつて理科の実験の様子がわかるとワクワクしてやる気が出る。
- 4コママンガで学習するページを見るのが楽しみ。マンガのページ数はあまり多くはない。
- 理科と社会は写真や絵がたくさんあって、見るのは楽しいです。でもゴチャゴチャして、本当に大事な部分を覚えにくいです。
- 字がたくさん書かれている教科書は難しいし、いやだと感じる。絵や文章がある教科書は良いと思う。例えば、文章のお手本がのっていると、どうすればわかりやすい文章になるのかが分かる。

こうなったらよいと感じること

- ふりかえりコーナーがあるとわかりやすい。算数でそういうページが多い。
- 教科書は紙も使うので個別最適化をするのは難しい。パソコンやタブレットを積極的に使い、個別最適化を進めた方がいい。一人ひとりで学習能力が違うので、パソコンやタブレットを使って能力に合わせた授業ができる方がよい。
- パソコンやタブレットで授業をするのがよいと言ったが、紙のテキストも残した方がよい。紙のテキストは手軽に見返せるから。現代は色々なデバイスがあるので小学生から使い方に慣れておいた方がよいと思う。
- 軽い教科書になるといい。ランドセルに入れると重くて肩こりになってこまる。
- 目がちかちかしくなくて、見やすい教科書がいい。今の教科書の内容はよい。
- 算数の教科書で、筆算がのっているページは合っているやり方だけでなく、間違ったやり方が書いてあるともっとわかりやすい。

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（1/3）

小学5年生以上

ポイントがまとまっていない

- 参考書のように、暗記事項や重要事項がまとめられていないので、勉強しにくい。（中学生）
- 数学の教科書が一番わかりにくい。用語をまとめたページがなく、テスト前に用語の意味を復習することができない。（中学生）
- 歴史の教科書は、日本史と世界史で年代が少しずつずれているので、どこか1か所にまとめてほしい。（中学生）
- 社会の教科書は大事な言葉ひとつに対して、大量の文章がある。大事な言葉に絞って記載してほしい。（中学生）
- 難しい文章が羅列されて学びにくい。（高校生・高専生年代）
- 世界史について、国がまたがっていてわかりにくい。国や地域ごとにまとめてもらえるとわかりやすい。（高校生・高専生年代）

分量が多い

- 教科書は重いのに、授業で1回も使わないページがたくさんある。（小学5～6年生）
- 学ぶことが多すぎて、学校の先生も「ここまで終わらせないといけない」と常に速足だし、授業を理解していない子が多い。（中学生）
- どの教科もとにかく量が多い。世界史も数学も共通テストまでぎりぎりのペースで学んでいる。（高校生・高専生年代）

重さ・材質・形のせいで使いづらい

- 直接、記入する際に書きにくく、消しゴムで消した跡がはっきり残ってしまう。紙が破れやすい。（小学5～6年生）
- 教科によって、大きさ形が違うのは持ち運びにくい。（中学生）
- とにかくどの教科書も重いにも関わらず学校ではいわゆる“置き勉”はダメだと言われている為、困っている。（高校生・高専生年代）

自分たちで考える余白がない

- 教科書に3つ～4つの例が記載されているので、意見を言っても教科書の例をそのまま言ったようになってしまう。教科書に記載する例は1つ～2つくらいにして、自分たちで解き方を探せるようにしてほしい。（小学5～6年生）
- 算数の教科書には答えや結論が書かれてしまっているが、もっと自分たちで考えられるようにしてほしい。答えや結論が書いてない方が、自分で考えられそうだと思う。（小学5～6年生）

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（2/3）

小学5年生以上

説明・解答が足りない

- 算数等の練習問題に答えを載せて欲しい。休んだ日に答え合わせがあると丸つけができなくて分からない。問題が埋もれてしまう。そうだとすごく勉強がしにくい。（小学5～6年生）
- 教科書は先生の解説がないと分からないので、復習には使いづらい。別に問題集を買っている人もいるが、教科書を使って復習するしかない人もあるので、そこで格差が生まれる。（中学生）
- 全教科に共通して、もう少し詳しく解説してほしい。（中学生）
- 数学の教科書やワークは解法が省略される。前の単元で習ったことだから省略されているなら「〇ページを参照」と書いてほしい。なぜ省略されているのかが分からないと困る。（高校生・高専生年代）
- 公式を載せるだけで、なぜそうなるかが書いていないことがある。共通テストはそこが狙われている中、情報が不足している。（高校生・高専生年代）

図表がない

- 表やグラフが大事。公民なら、写真や組織図とかがいっぱいあったほうが分かりやすい。数学なら、立体がのっているとよい。解説を読むのが苦手だから、解説の解説が欲しいくらいに感じる。（中学生）
- 社会ではもっと図解がほしい。人物の関係性や、利害関係などがわかると歴史の流れが掴みやすくなるから。（中学生）

デザインが分かりづらい

【文字】

- 文字が視力のせいでたまに読めない。音読のときにわからなくなる人がいる。文字をもう少しわかりやすくしてほしい。（小学5～6年生）
- 算数は文字が大きすぎる。もう少し小さくて詰まっている方が頭に入りやすい。（小学5～6年生）
- サイズを大きくしてほしい。中学までの教科書はB5サイズで見やすかったが、高校では小さくなって文字が読みにくい。（高校生・高専生年代）
- 文字と文字の間が狭すぎて書き込みができないことがある。（高校生・高専生年代）

【色づかい】

- 全科目の教科書がカラフルでかわいいが、カラフルすぎてどこが大切なのが分かりづらいと思う。（小学5～6年生）
- 赤文字を増やしてほしい。（高校生・高専生年代）

1 将来の自分未来の社会について

2 学校の授業や教科書について

3 先生からの評価・成績について

2-1.

2-2.

2-3.

2-4.

2-5.

2-6.

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（3/3）

小学5年生以上

こうなったらよいと感じること

- 色々なレベルの問題が入った教科書だったらよい。簡単すぎる問題をたくさん解いていても「解いているだけ」という感じになり、意味がない。難しい発展問題もあった方がよいと思う。（小学5～6年生）
- 理科の勉強をしていて「いつ使うための勉強なのかな」とたまに思う。身近な場面でいつ使うのか教科書に書いてほしい。（小学5～6年生）
- 図形などの複雑な問題はデジタルの方が良い。（小学5～6年生）
- 英語が、小学校ではじまったからと、中学校で急にむずかしくなるのはおかしい。（中学生）
- 社会が地理と歴史と公民に分かれているが、SDGsがどの教科書にも載っていて、もっと効率よくできるのではないか。（中学生）
- 世界史も日本史も過去から学ぶが、共通テストは近代史の設問が多い。近代史の学習に間に合うような教科書にしてほしい。（高校生・高専生年代）

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。(1/3)

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

ポイントがまとめられている

- あまりゴチャゴチャしてない。コンパクトに説明してある。音読するときには複雑な言葉じゃない。(小学1～4年生)
- 暗記系は、大事なポイントなどをまとめて説明してくれているページがあると分かりやすくなって、もっと覚えられる(小学1～4年生)
- 説明は細かく多く、でも、大きなポイントは目立つような教科書。(小学5・6年生)
- 章の終わりなどに要点まとめを作って欲しい。(高校生・高専生年代)

考えを深められる

- いきなり解き方を考えるのではなく、まずは自分で考えられる教科書。(小学5・6年生)
- 教科書だけならみんな同じ意見になってしまうが、教科書から広げていくと考えが多様になる。自分でも調べてみるための「匂わせ」みたいなものが教科書にあるとよいと思う。(高校生・高専生年代)
- 答えがすぐに見えて来てしまうものではなく、解法やその答えに至るまでの過程を詳しく扱った教材。(高校生・高専生年代)

誰にとってもわかりやすい工夫

- すでに習っていても他の漢字との組み合わせで読み方が難しい漢字にはふりがながあって、難しい言葉が使われていない教科書がいい。(小学1～4年生)
- 作成過程にその教科の専門以外の人も関わることで、その教科が苦手な人にとっても分かりやすくできると良いと思う。(高校生年代)

興味がわくコンテンツがある

- 勉強の区切り目で、ゲームでおさらいできたらよい。(小学1～4年生)
- ちょっとした雑学が載っていたりして、読んでいて楽しい教科書。(小学5・6年生)
- 先生が教えてくれる歴史のおもしろい点は記憶に残るので、豆知識などが書いてあるとよい。(中学生)
- 物事の成り立ちや豆知識を紹介するなど、教えられる物事(公式や歴史上の人物等々)に対する探究心の糸口をつかむような内容になるといい。(高校生・高専生年代)

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。（2/3）

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

分量・重さ・材質がちょうどよい

【分量】

- 学ぶ内容を増やすときは、これまで学んでいたもので時代に合わなくなったものを減らすなどしてほしい。学ぶ内容が多すぎると、身につかない。（中学生）
- 資料があるときには資料が目立つように文字数を減らしたのになると良いと思う（高校生・高専生年代）

【重さ・冊数】

- 教科書は1年間を3冊くらいに分けて軽くしてほしい。（小学5・6年生）
- 上巻・下巻に分けるのではなく、1冊にしてほしい。勉強している途中で急に終わるのが嫌だし、上巻・下巻に分かれていると管理が難しい。1冊にまとまっているほうが、集中力が上がりそう。（小学生）
- 重量が軽いといい。一日に学んだ科目の分を復習するために教科書を持って帰りたいが、重いし教科書だけでバッグの容量が埋まってしまう家で使わない。（高校生・高専生年代）

【材質】

- グラフや線を書き込むとき、間違えることがあり、消す必要がある。ルーズリーフのような、なめらかで消しやすい紙にしてほしい。（小学5・6年生）
- 和紙とか反射がキツくない紙質。（高校生・高専生年代）

デジタル技術を活用している

- 教科書とプリントとVRがあって、まずは教科書やプリントを読んで、そのあとVRの中をのぞき込む進め方がよい。社会の授業なら、まちの中をのぞいてどういう風にそのまちができたかや、まちの人がどういう風にはたっているかを見られるとよい。（小学1～4年生）
- 書き込みができるデジタル教科書がいい。（小学5・6年生）
- 科目ごとにデジタル教科書を使うか決めたらよいと思う。国語は文章に線を引いたりするため紙がよいと思うが、数学や英語では、デジタルを使ったほうが分かりやすくなる。（中学生）
- 色々な教科を勉強したいと思って家に持ち帰ると荷物が増える。紙が必要なところはそのまま、図や写真はなるべくデジタルに代用して、紙とデジタルを併用できたらよいと思う。（中学生）
- 点字を使う生徒は、1つの教科で教科書が10冊くらいになる。点字ディスプレイを使えば、教科書が何冊も入るのでいちいち探さなくてもよいし、はるかに軽い。（中学生）
- 家で勉強するときに教科書を自分で読んでいるとやる気がなくなってくるので、音声で読み上げしてくれるようにしてほしい。（高校生年代）

1 将来の自分未来の社会について

2 学校の授業や教科書について

3 先生からの評価・成績について

2-1.

2-2.

2-3.

2-4.

2-5.

2-6.

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。（3/3）

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

図表や詳しい解説がある

- どんな教科書がいいかという、みんなが分かるような教科書がいい。簡単でなくても理解ができる教科書。どちらにせよ理解はするが、さらに早く理解できる教科書がいいと思う。教科書の中には図が書いていない問題があるので、もっと図やヒントがあると理解しやすくなると思う。（小 1 ～ 4）
- 社会や理科について、用語が難しすぎてよく分からないことがあるので、ページの端などに説明を入れてほしい。（中学生）
- 絵があると楽しい雰囲気だと感じる。文字だけで書かれるよりも、写真や絵が入っているほうが良いと思う。（中学生）
- カラーで、図や絵が多く記載されている。（高校生・高専生年代）

学習進度にあわせて使える

- 難しいチャレンジ問題をつくれたほうがいい。苦手な子が解いているのを待つのがつまらない。だから難しい問題がほしい。（小 5 ・ 6）
- 算数は解けない問題が多いから答えと解説をつけてほしい。なぜ答えのようになるのか、算数の解き方の説明があったらわかりやすい。レベル別にして、ついていけない子に対しては補習をしてほしい。（小 5 ・ 6）
- みんなが自分のレベルに合わせて、安心して学習できるような教科書がこれからの時代に望ましいと思う。（中学生）